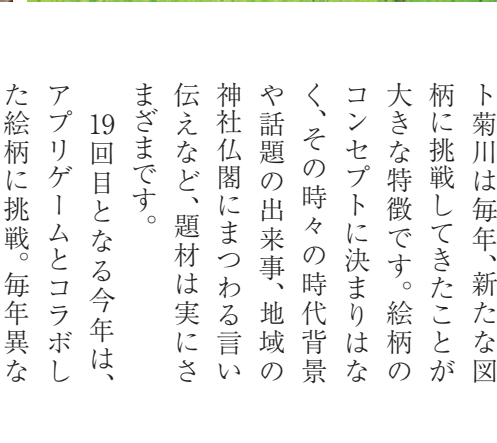
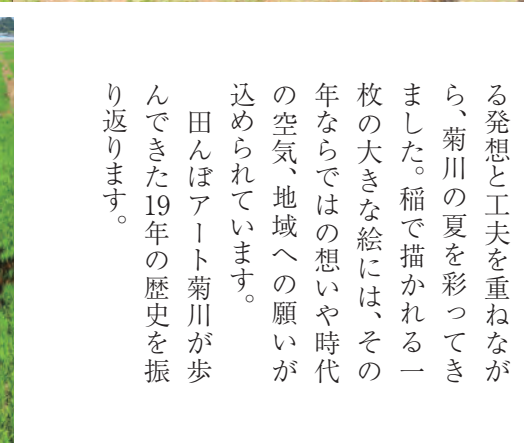




田んぼアートの歴史

2008年に始まった田んぼアート菊川は、今年で19回目を迎えました。全国には同じ絵柄を続けて採用する田んぼアートもありますが、田んぼアート菊川は毎年、新たな図柄に挑戦してきたことが大きな特徴です。絵柄のコンセプトに決まりはなく、その時々々の時代背景や話題の出来事、地域の神社仏閣にまつわる言い伝えなど、題材は実にさまざまです。

19回目となる今年は、アプリゲームとコラボした絵柄に挑戦。毎年異なる発想と工夫を重ねながら、菊川の夏を彩ってきました。稲で描かれる一枚の大きな絵には、その年ならではの想いや時代の空気、地域への願いが込められています。

田んぼアート菊川が歩んできた19年の歴史を振り返ります。

リアルな稲作体験ができると評判の、稲作シミュレーションと探索バトルが融合したアプリゲーム。サクナヒメとヒメカヒメの2人の女神が、協力しながら大冒険を繰り広げます。
※7月27日(月)をもってサービス終了



ホームページ

天穂のサクナヒメ
~ヒメカ巡霊譚~

©EW / SP ©EW / TH